



熊本市西区池田4-22-1

☎ 096-326-6810

(入試課)

<オープンキャンパス>7/22(日)、8/11(土・祝) 9:30～
15:00(受付9:00～) 講義を選んで受けられるほか、学食
ではランチが無料に。保護者向け進学相談会や個別相談会
も開催。県外各地から無料送迎バスを運行(HPで確認を)。

参 無料 **申** 7/17・8/6までにHPまたは電話で

大学生、のぞいてみる？

Campus shot!

入学試験を突破して、夢の大学生となったセンパイたちは、どんなキャンパスライフを送っているのでしょうか。県内の大学に通う大学生の日常を聞きました。

親子の憧れ、パイロットに

キラキラした笑顔が印象的な川西さんは、エアラインのパイロットを目指し、日々飛行訓練に励んでいます。

高校生の頃、ブルーインパルスを見て感動し、“自分で操縦して、自由に空を飛びたい”と、パイロットに憧れたといいます。高校の先生や周りの友達は驚いたそうですが、かつてパイロットを志した父から“思いっきりチャレンジなさい”と背中を押され、空港にキャンパスを持つ崇城大学へ。現在は、夢に向かって猛勉強の日々です。

飛行訓練だけでなく、航空法や気象、機体のメカニズムなど、身に付けなければならない知識はいっぱい。「人の命を預かる仕事。トラブル時に冷静に判断できるよう、訓練の連続です」

休日は、阿蘇にドライブしてリフレッシュ。“好き”を原動力に、大空へ羽ばたく日を夢見ています。



空港キャンパスでの飛行訓練の一コマ。制服姿がリリしい

Student File.01

崇城大学

工学部 宇宙航空システム工学科 操縦学専攻3年

川西 瑞希さん

川西さんに2つの質問！

●操縦学専攻の魅力は？

民間の航空会社で経験を積んだ教官が教えてくださるので、リアルな話が聞けます

●高校生に一言

「無理!」と思っても、やりたいことならとりあえずチャレンジしてみよう!



ベンチャー企業「シアモ」を立ち上げた崇城大大学院生の古賀碧社長(左から2人目)と中山峰男学長(中央)ら=熊本市西区

光合成細菌キットを製造販売 崇城大院生らがベンチャー企業

農作物の成長を促す光合成細菌の培養キットを製造販売するベンチャー企業「^{シアモ}Ciamo」を設立した崇城大(熊本市西区)は5月10日、記者会見し、社長を務める大学院生らが「光合成細菌を広め、熊本の農業に貢献したい」と抱負を述べた。

シアモは大学側が1200万円を出資した株式会社。社長には同大大学院工学研究科の古賀碧さん(24)が就任。古賀さんらは焼酎粕^{かす}を使って安価に光合成細菌を製造するキットを開発し、昨年6月から県内の農家に直接販売している。開発中の新商品も含め、今後5年で年間10億円の売り上げを目指す。

古賀さんは「取引先の農家が口コミで販路を拡大し

てくれている。今後はインターネットの通信販売などでも広めたい」。中山峰男学長は「これから起業を目指す学生の目標になってほしい」と期待した。

(5月11日朝刊)